



アクリルがマージンアップ
ノックアウトへ都内に飲食
店出店14面

医療・介護

介護職員の意思疎通後押し
ブライト・ヴィーが専用ツール開発へ

しなやかに

来店客に寄り添い人生の節目演出
—宮甲羅本店女将・大場由美さん

中部経済新聞

ヘルスケア & マネジメント

医療・介護・福祉

ご意見・情報をお寄せ下さい

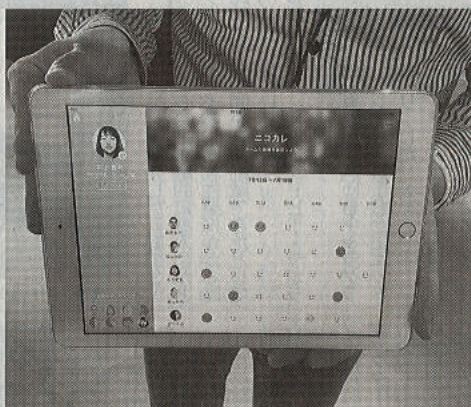
このページでは、医療・介護・福祉分野の多彩な情報をお届けします。

電話 052・561・5212
メール joho@chukeni-news.co.jp

介護職員の意思疎通 後押し

介護事業者向けシステム開発のブライト・ヴィー（本社名古屋市中村区名駅、飯田友一社長、電話052・734・4628）は、介護職員専用コミュニケ

専用コミュニケーションツール開発へ



開発中の「ケアズ」の試作品。画面は搭載予定機能の「ニコニコカレンダー」

モチベーション高め離職防ぐ



飯田友一社長

厚生労働省所管の公益財団法人介護労働安定センターの「介護労働実態調査」（2017年度）によると、人手不足を感じる介護事業所の割合は66・6％。離職率の高さが一因で、「職場の人間関係」「結婚・出産・育児」「所属先施設・法人の理念や運営に対する不満」といった離職理由が上位を占める。

ブライト・ヴィー

ーションツールの開発に乗り出した。タブレット端末を介して職員同士の活発な意思疎通を図ることができる製品をつくる。職員一人一人の働くモチベーションを高めることが狙い。職場の人間関係や仕事に対しての不平不満を解消し、離職防止につなげる考え。開発プロジェクトには現役の介護職員たちの参加を呼び掛けており、介護現場の生の声を反映させる。来年1月をめどにサービスの提供を目指す。（梶田宏行）

いる。介護自体を嫌になつて辞めるわけではない」（飯田社長）という。働き続けたと思える職場は、モチベーションを高める。開発プロジェクトは「ケアズ」で、タブレット端末を利用する。機能は複数を開発する計画。搭載予定の主な機能は、職員同士が互いの良い点をほめ合うサンクスカード、職員一人一人のその日の体調や気分が見える化した「ニコニコカレンダー」、LINE（対話アプリ）のようにメッセージのやり取りできる機能などを

想定。また、勤怠管理など日常業務に必要な機能も設ける。

介護職員・介護事業者のアイデアを積極的に製品開発に生かす。ニーズが高いものから実用化していく方針だ。現在、開発プロジェクトの参加者を募集している。開発協力者には、発売後のケアズが安く使える料金の割引特典を付与する予定。

飯田社長は「介護現場が本質に必要としている機能を搭載する。多くの方の意見を反映させた完成度の高い製品を目指したい」と話している。同社は2014年設立。従業員は6人。